

藤井勘圀の絵

2019年

2月9日.土 — 2月17日.日

定休日 13日.水 OPEN 11:00 — 18:00

作家在廊日 9日(土).10日(日).11日(月祝)



山茶花



御化鶏頭

●藤井勘圀さんの絵は、日本画でありながら、あらゆる素材を用いて、彼独特の世界を築いている。

色が折り重なって、きらりと光る。おぼけ

一つは花の絵。椿や山茶花や芍薬。御化鶏頭のむくむくと現れ出て来る赤の連なり。

もう一つは、27年間描き続けて来た岩田山の何ともいえぬ猿たち。雪の降る寒さの中でゆったりと動き、春には草木の中に現れては人間を観察し、死んでいく。その姿を、勘圀さんは同じ位置に身を置き、雨にさらされ、紙が破れながらも、描いて来た。ところが今、外国人観光客の急増で、近づけないようにロープが張られ、今迄のようには描けなくなって来ている。勘圀さんによると岩田山に行くことで、体も心も解放されて、良い絵が描けて来たというのに。

そして大津繪を基に、現代的な視点で自由に描いたモノ達。これはさらっと、あっさり、思いが形をもち、新しい印象を与えている。

菩薩、阿国や歌舞伎、不動明王、達磨、為朝まで——。

この人にかかったら、鳥でも何でも形になり、おもしろいのである。

勘圀さんは、京都にあまりかわらないで生きているというが、京都だからこそ描けていると、僕は思う。

うつわ菜の花に、お出かけ下さい。

2019年1月21日 うつわ菜の花 ●たかはしたいいち



マシラシリーズ ニオ

うつわ菜の花

小田原市南町1-3-12

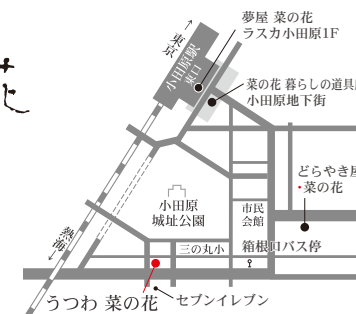
電話 0465-24-7020

小田原駅東口より箱根方面へ

向かうバス利用

[箱根口]バス停下車徒歩2分

セブンイレブン向かい側





蓮花



子豚



不動



觀音



菩薩



菩薩



野郎



松